

- 五島地域は、県内有数の畑作地帯だが、生産物の販売単価が低いため、**6次産業化による農産物の付加価値向上が課題**。
- 平成25年度に設立した「五島地域加工業務用産地育成協議会」は6次化志向経営体の掘り起こしやセミナーの実施、従来加工品の新商品開発支援、さらに**規格外中玉トマトの商品化**に取り組んだ。
- その結果、**総合化事業計画認定経営体の新商品開発**の取り組みや、**中玉トマト加工品が5種商品化**され販売が始まるなど、産地収益力が向上。

具体的な成果

1 総合化事業計画の認定

■6次化志向の経営体が総合化事業計画の活用を要望し、アドバイザー派遣等の支援の結果、新たに4経営体が認定を取得し、施設拡充や商品開発を進めた。
(H25→H30)

①認定数

0経営体 → 4経営体

2 中玉トマトを使用した加工品の商品化

■五島地域のブランドトマト「五島ルビー」を使用した商品名「ごとうさんのトマトと牛肉でつくるビーフカレー」等3商品、業務用のトマトピューレがJAで商品化されたほか、新上五島町の製麺業者が長崎県農商工連携ファンド事業を活用し、ピューレを練りこんだ「五島手述トマトうどん」を商品化した。(H28→R1))

■販売は地元JA直売所と併設のレストランで、地域活性化に寄与

①商品数 0商品 → 5商品



3 加工を前提にした新規品目の取組増加

■加工向けトウガラシやニンニクの取引が開始され、離島の**農地活用に寄与**

■**法人・企業による独自の商品開発**が活発になり原料安定生産に向けた栽培方法の検討などの相談が増加。

普及指導員の活動

平成25年

- 五島地域加工業務用産地育成協議会を設立し、事務局として関係者団体をまとめ**実需者への実態調査とマッチングフェアへの参加、生産実態アンケートを実施**。
- 塩蔵加工施設の増設、廃液処理施設整備の事業実施支援。

平成26～継続中

- 農業者・加工業者を対象とした6次産業化セミナーを実施。
- 6次化志向の経営体に対して個別相談会、事業化認定等の取組支援を実施**。

平成28年～継続中

- 中玉トマト加工品の商品化に向け、**専門家派遣や試験機関での試作の仲介や事業計画作成を支援し、加工品4商品と業務用素材1商品を商品化した**。

平成28年～継続中

- かんころや干し大根等の伝統的な加工品の新商品化や、トウガラシ等の**新産地化と加工業者との連携での商品開発を支援**した。一部取組では地元高校生と連携し商品開発を支援した。

普及指導員だからできたこと

- ・日頃から連携している農家、農業法人、JA等の要望を聞き取り、民間企業、研究機関や行政の**関係者を結びつけ、新商品の開発に向けた産地の取組を進めることができた**。